



SORATO NRT エアポートシティ構想【概要】

1 外部環境

【世界】人口増大・グローバル化、高齢化進行、国際秩序の不安定性、気候変動問題、航空需要増大、空港間競争激化 etc.

【日本】人口減少、少子高齢化、国際競争力・相対的地位低下、外国人増加、食糧安全保障 etc.

【地域】周辺地域におけるポテンシャル未活用、地域公共交通の課題、農業生産効率、外国人住民の増加 etc.

成田空港及び周辺地域

世界の成長を取り込み、日本経済の再活性化と地域の持続的な発展を
けん引する「未来志向型のエアポートシティ」へ

2 本構想で目指すビジョン

“誰もが輝き、世界と響き合う「フラッグシップ・エアポートシティ」”

- 成田空港の国際競争力獲得、日本の成長
戦略を牽引する重要な国家プロジェクト
○世界の活力を取り込み、我が国・成田空港・
周辺地域が本来有するポテンシャルを最大
限に発揮
○世界をリードするモデル都市圏への変貌

ビジョン実現に必要な3つの観点

①多様な主体による革新的な取組 ②起爆剤としての資本投入、多様な民間投資の継続的な誘発 ③必要に応じた規制緩和と制度導入

- 世界で日本を輝かせ続けるフラッグシップ・
エアポートシティへ
○次世代産業育成・DX活用等による活力創出
○国際産業拠点形成、日本で最も国際的なまち
=未来志向型エアポートシティ
○空港地域固有のアイデンティティ・景観形成

3 ビジョン実現のためのアプローチ

産業・イノベーション

- 世界水準の航空・先端産業クラスター形成
○医療・農業・観光の空港を核としたグローバル拠点化
○物流の効率化・高度化 ○規制緩和・制度導入

ウェルビーイング

- 空港と高度産業を支える人材育成・集積
○選ばれる魅力的な居住エリア・景観・コミュニティ形成
○里山・田園・海・川と共生する新たなライフスタイル
○グローバルで高質な教育環境整備

交通・モビリティ

- 複合的な広域幹線道路ネットワーク整備 ○鉄道アクセスの充実
○周辺のまちづくりを踏まえた効率的な地域公共交通の実現

ダイバーシティ・サステナビリティ

- 誰もがその人らしく生きる・分かり合える地域社会の実現
○空港と地域で環境に配慮した統合的取組を推進
○空港を核とした防災拠点の確立

4 ゾーニング

- 空港を中心とした広域経済圏の創出
○ 成田空港周辺を5つのエリアに分け、それらが連動して世界をリードする空港都市圏を形成
空港至近のエリアは、4つのゾーンで高アクセスと好立地を活かし国際的な産業・物流拠点を形成
○ 併せて空港と周辺地域が有機的に連携した産業・居住・観光拠点を形成

5 ロードマップ

- 構想実現に向け、様々な関係者・ステークホルダーの存在と合意形成を前提に、空港拡張、各種開発、
インフラ整備、法制度、各種サービスの展開等を中長期的な計画性をもって推進
○ 構想実現にむけて、①構想期、②実行期、③展開期、④定着・持続期の4段階のフェーズを設定

6 推進体制

- 各ステークホルダーが積極的に参画し、有機的に協働・連携する推進体制を構築
○ NRTエリアデザインセンターは関係者間の「結節点」として、対外調整・協力促進や構想の周知・広報、
マッチング支援等を実施、産官学の連携・協力の下で本構想の実現に向けて取り組む。

※本構想は、成田空港内外の一体的発展に向けた「議論の出発点」であり、地域を含めた様々なステークホルダーが
それぞれの立場で主体的に関わり協力しながら、具体的な施策の立案や事業の具現化につなげていくことを目指す。

※今後、国際情勢や国の政策、関係者の意向・動向等を踏まえて、必要に応じて構想のアップデートを行う予定。